

2017年3月期 第2四半期 決算説明補足資料

エンカレッジ・テクノロジー株式会社
(証券コード：3682)
2016年11月8日

目次

1.2017年3月期 第2四半期（累計）決算概要

2.2017年3月期 業績予想

3. 2017年3月期 下半期 重点施策について

4.参考資料

目次

1.2017年3月期 第2四半期（累計）決算概要

2.2017年3月期 業績予想

3. 2017年3月期 下半期 重点施策について

4.参考資料

2017年3月期 第2四半期（累計）決算概要

（単位：百万円）

	2016年3月期 第2四半期累計 （単体）ご参考	2017年3月期 第2四半期累計 （連結）	前年同期比 増減率(%) ご参考
売上高	741	871	33.0 ①
売上原価	191	347	81.7 ②
売上総利益	550	523	△4.9
販管費	276	361	30.8 ③
営業利益	274	162	△40.9
経常利益	276	162	△41.3
当期純利益	182	109	△40.1

- ① ET単体はほぼ横ばいながらも、アクロテック売上高が寄与
 ②,③ 次の成長への投資として、人件費及び外注費が増加

*2017年3月期第1四半期より連結決算を開始しております。前年同期比は、単体決算との比較となっております。

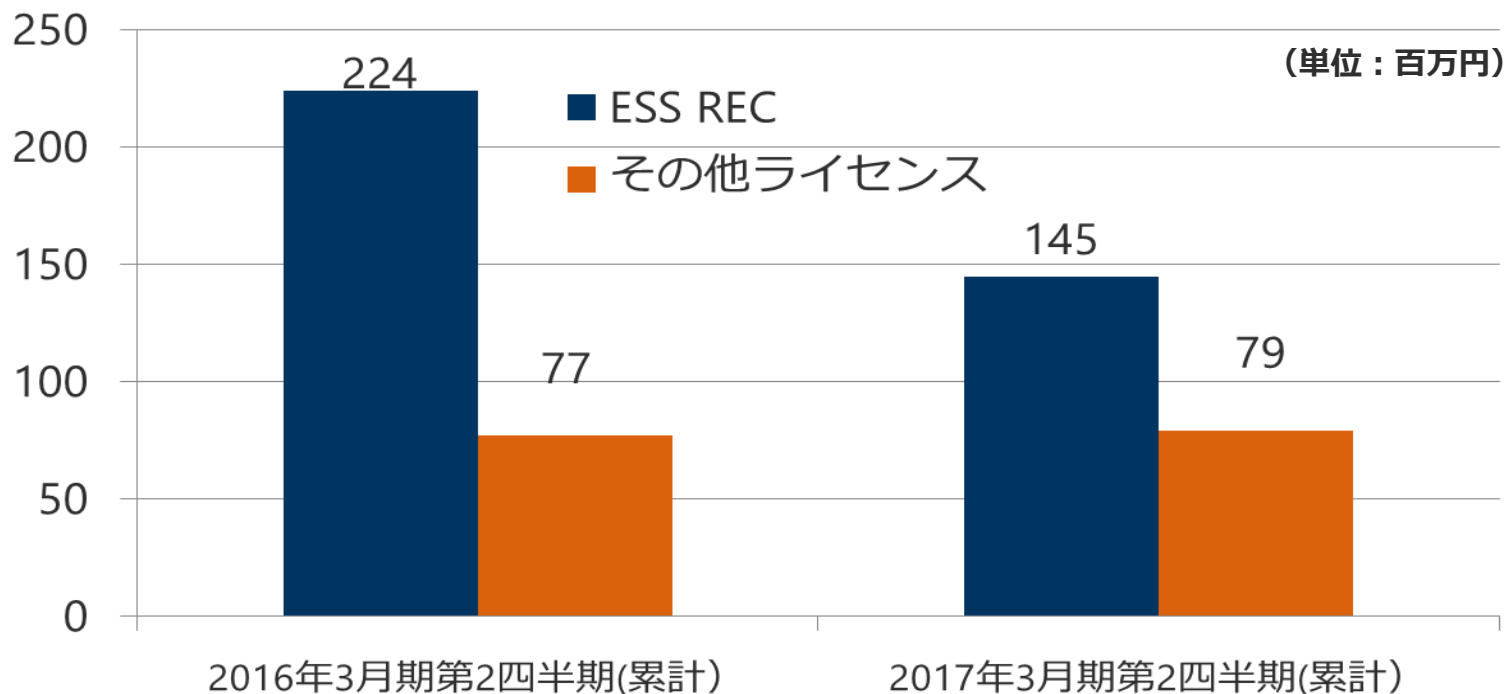
売上構成の推移

(単位：百万円)

構成項目	2016年3月期 第2四半期累計 (単体)	2017年3月期 第2四半期累計 (連結)	前年同期比 増減率 (%) ご参考
ライセンス	302	225	△25.5
保守サービス	329	401	21.6
クラウドサービス	5	13	156.6
コンサルティングサービス	53	59	11.2
SIO常駐サービス	28	30	6.8
その他	22	22	△0.4
エンカレッジ・テクノロジー 単体	741	752	1.4
システム開発サービス	—	119	—
売上高合計	—	871	—

*2017年3月期第1四半期より連結決算を開始しております。前年同期比は、単体決算との比較となっております。

ライセンス売上 対前期比較



- ・ ライセンス売上は対前期比25.5%減
 - ・ ESS RECが対前期比35.1%減
 - 主要顧客の金融機関において投資抑制や計画延期の動き
 - 標的型サイバー攻撃対策製品にシフトし先送りもしくは最小限の投資
 - 契約件数は増加しているが、大型案件が減少し1契約当たりの単価が低下
- ・ その他ライセンスは対前期比2.4%増

売上原価と販売費及び一般管理費の状況 (単体での参考情報)

原価65百万円、販管費53百万円増加

増加内訳/	人員増、給与改定による増加	32百万円
	確定拠出年金、業績連動賞与	18百万円
	外注費による増加	25百万円
	採用費・教育費による増加	9百万円
	広告宣伝費による増加	6百万円

貸借対照表

(単位：百万円)

	2016年3月期 期末実績 (単体)	2017年3月期 第2四半期 期末実績 (連結)	対前期比 増減率(%) ご参考	主な増減要因
流動資産 (うち現金および預金)	3,014 (2,746)	3,067 (2,527)	1.8	現預金 115 売掛金 △70
固定資産	189	232	22.5	のれん 23
資産合計	3,203	3,299	3.0	
流動負債	554	622	12.2	前受金 128
固定負債	25	29	16.5	
純資産	2,623	2,647	0.9	当期純利益 109 剰余金の配当 △86
負債・純資産合計	3,203	3,299	3.0	

重点施策の進捗状況

■ ソフトウェアパッケージ事業の拡大

代理店の地方金融機関案件で遅延が発生

- ・ マイナス金利や標的型サイバー攻撃対策製品にシフトが影響し先送り

ESS AdminControl の機能拡張開発(Ver1.4)

- ・ FISC“サイバー攻撃対応体制の整備”の内部対策である特権ID管理要件に対応
(不正ログイン対策に有効、対象機器拡大、レポート改良等)

メジャーなセキュリティイベントへ出展し認知度向上

■ クラウドサービス事業の推進

自治体情報システム強靱性向上に対応するファイル無害化

ソリューション「ESS FileGate (EFG)」の開発着手、発表

- ・ 株式会社電算との協業を発表

重点施策の進捗状況

■ 事業拡大に備えた人材への投資

株式会社アクロテックの株式譲受、完全子会社化

- ・ ソフトウェア開発技術者の連携を強化
- ・ 相互補完による業容拡大を目指す

採用強化および教育促進

- ・ 連結で新卒15名、経験社員8名を採用
- ・ 教育担当専任者を配置し、個人スキル向上およびマネジメントスキル向上による組織力強化を実施

定着率向上施策（処遇改善）の実施

- ・ 2016年4月より確定拠出年金制度を開始（福利厚生の実質化）
- ・ 賞与制度を導入（給与水準引き上げ）

2017年3月期 第2四半期(累計期間)トピックス

4月1日

- 株式会社アクロテックの全株式取得、完全子会社化

6月

- Interop Tokyo 2016出展

6月14日 大手旅行会社がサイバー
 攻撃による個人情報流失を発表

7月

- ガートナー セキュリティ & リスク・マネジメント サミット 2016 出展

8月

- セキュリティ マネジメントカンファレンス 2016 夏 出展

9月1日

- ファイル無害化ソリューション「ESS FileGate」を発表

9月28日

- 株式会社電算と自治体情報システム強靱性向上で協業

目次

1.2017年3月期 第2四半期（累計）決算概要

2.2017年3月期 業績予想

3. 2017年3月期 下半期 重点施策について

4.参考資料

2017年3月期 業績計画（修正）

（単位：百万円）

	2016年3月期 実績 (単体)	2017年3月期 上期 (実績)	2017年3月期 下期 (予想)	2017年3月期 計画 (連結)	対前期比 増減率(%) ご参考
売上高	1,622	871	999	1,870	15.2
売上原価	437	347	373	720	64.8
売上総利益	1,185	523	627	1,150	△3.0
販管費	573	361	399	760	32.6
営業利益	612	162	228	390	△36.3
経常利益	619	162	233	395	△36.2
当期純利益	430	109	151	260	△39.5

*2017年3月期第1四半期より連結決算を開始しております。前年同期比は、単体決算との比較となっております。

売上構成別 計画（修正）

（単位：百万円）

構成項目	2016年3月期 実績 (単体)	2017年3月期 上期 (実績)	2017年3月期 下期 (予想)	2017年3月期 計画 (連結)	対前期比 増減率(%) ご参考
ライセンス	675	225	335	560	△17.0
保守サービス	695	401	419	820	18.0
クラウドサービス	13	13	15	28	115.4
コンサルティングサービス	127	59	81	140	11.2
SIO常駐サービス	59	30	30	60	10.2
その他	51	22	20	42	△17.6
エンカレッジ・テクノロジー 単体	1,622	752	898	1,650	1.7
システム開発サービス	—	119	101	220	—
売上高合計	—	871	999	1,870	—

*2017年3月期第1四半期より連結決算を開始しております。前年同期比は、単体決算との比較となっております。

目次

1.2017年3月期 第2四半期（累計）決算概要

2.2017年3月期 業績予想

3.2017年3月期 下半期 重点施策について

4.参考資料

2017年3月期 下半期 重点施策

ソフトウェアパッケージ事業の拡大

クラウドサービス事業の推進

事業拡大に備えた人材への投資

2017年3月期 下半期 重点施策

ソフトウェアパッケージ事業の拡大

販売力の強化

サイバー攻撃対策（多層防御）の内部対策への訴求

- ・ 認知度向上、市場形成を目的にセキュリティイベントへの出展加速

金融深耕に加えて金融以外の業種強化（代理店施策）

製品機能強化

- ・ ESS RECの機能強化（新OS対応および品質強化）
- ・ ESS AdminControl の新バージョン（Ver1.4）販売開始 *10/17発表
サイバー攻撃への内部対策に対応（不正ログイン対策）
管理対象拡大による新たなニーズの掘り起こし

2017年3月期 下半期 重点施策

クラウドサービス事業の推進

販売力の強化

新たなマーケット（自治体情報システム強靱性向上）への参入

- ・ 各地域を代表するSI企業との連携強化
ベンダー向けコミュニティ制度による代理店支援
- ・ 自治体情報セキュリティ分野へのソリューション提供
ファイル無害化対策（ESS FileGate）
システム管理業務のアクセス管理対策（ESS AdminGate）
番号利用端末の情報漏えい対策としてESS RECの拡販へつなげる

販売システム（ECサイト構築）は来期着手に変更

2017年3月期 下半期 重点施策

事業拡大に備えた人材への投資

採用の強化およびアクロテックとの業務連携推進

連結期末人員を127名に計画を修正（単体：91名）

アクロテックとの業務連携

- ・開発及びコンサルティング部門で計7名を予定

定着率向上施策（処遇改善）の実施

業績連動型賞与による支給

新評価制度および新給与体系の構築

階層別研修による社員の能力向上

目次

1.2017年3月期 第2四半期（累計）決算概要

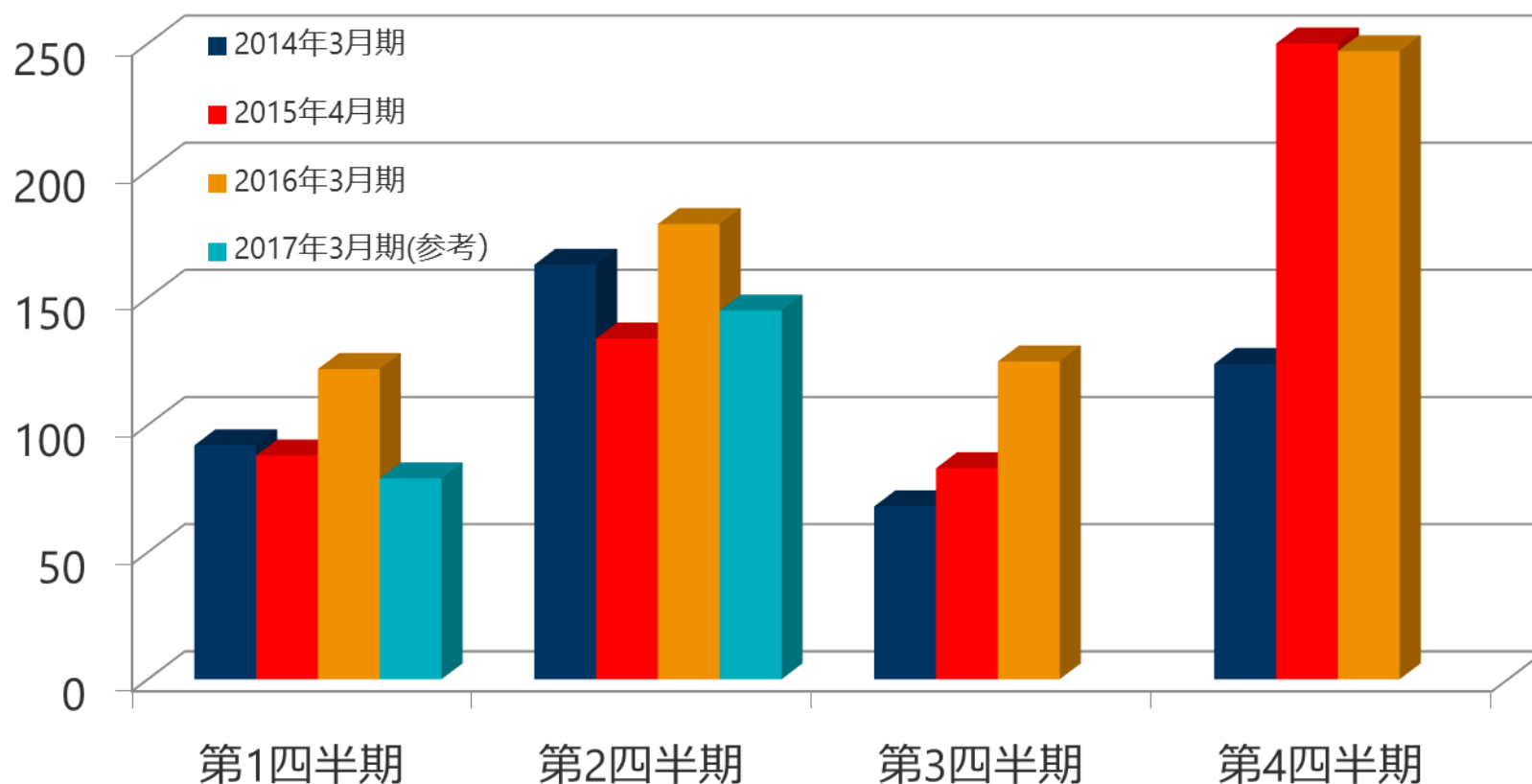
2.2017年3月期 業績予想

3.2017年3月期 下半期 重点施策について

4.参考資料

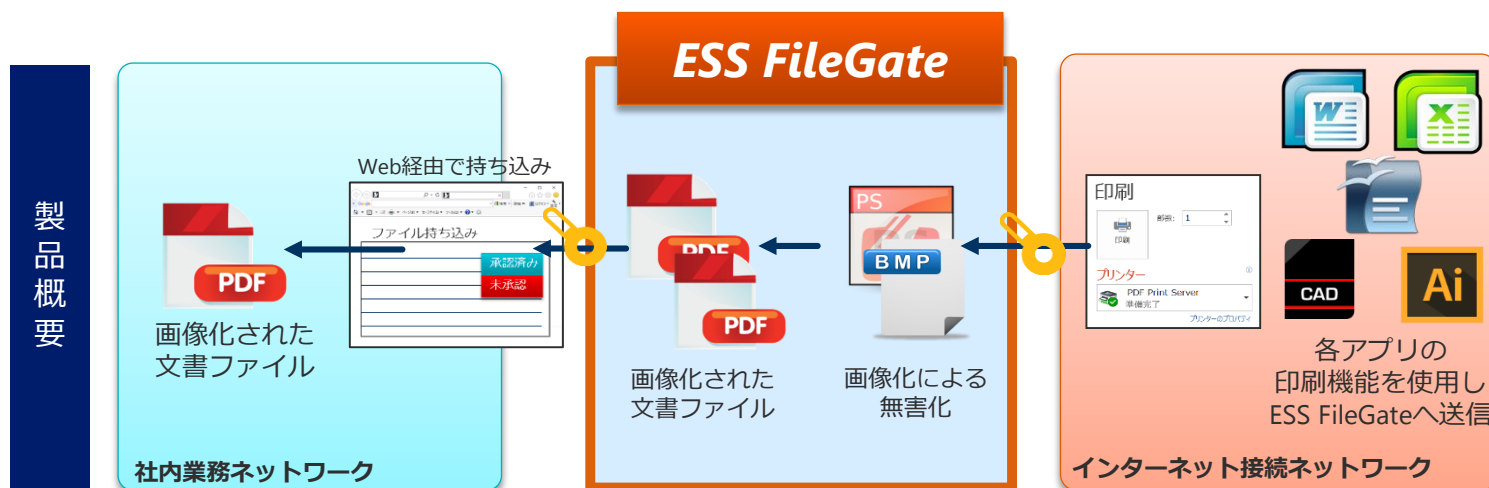
参考資料：四半期別ライセンス売上推移

(単位：百万円)



参考資料：新製品 *ESS FileGate* について

自治体情報システム強靱性向上に対応する ファイル無害化ソリューション「ESS FileGate」を2016年9月1日に発表。11月下旬に販売開始予定。



製品概要

適用業種・シーン

- 自治体 システム強靱性向上**
 インターネット接続環境とLGWAN環境の分離分割が進められる中、LGWAN環境へのファイルの持ち込みには「無害化」の対応が求められています。ESS FileGateは自治体システム強靱性向上に最適な機能を提供しています。
- 金融機関**
 サイバーセキュリティ対策の一環として、業務ネットワークとインターネット環境との分離が求められています。分離されたネットワーク間でのファイルの受け渡しは、安全性の確認と漏えい対策が必要であり、USBメモリによる持ち込み・持ち出しは危険です。
- 病院など医療機関**
 医療情報ネットワークと内部ネットワークは分離されており、ネットワーク間でのファイルの受け渡しにUSBメモリを使用すると、データの紛失リスク、情報漏えいリスクの危険が伴います。より安全な受け渡し方法が求められます。

会社概要

セキュリティ対策および内部統制に対応したパッケージソフトソフトウェア開発・販売



エンカレッジ・テクノロジー株式会社
Encourage Technologies Co., Ltd. (証券コード：3682)

所在地： 東京都中央区日本橋浜町3-3-2 トルナーレ日本橋浜町
設立年月日： 2002年11月1日
代表者： 代表取締役社長 石井 進也
従業員数： 120名(2016年9月末日) 連結
決算日： 3月31日
事業内容： コンピュータシステムソフトの開発・保守並びに販売
コンピュータ運用管理に関するコンサルティング
コンピュータ運用管理に関するBPOサービス

将来見通しに関する注意事項

本資料に記載されている計画や見通し、戦略などは本書面の作成時点において取得可能な情報に基づく将来の業績に関する見通しであり、これらにはリスクや不確実性が内在しております。かかるリスク及び不確実性により、実際の業績等はこれらの見通しや予想とは異なる結果となる可能性があります。

当社が事業環境の説明を行う上で、参考となると考える情報を掲載しております。掲載データについては、調査方法や調査時期により結果が異なる可能性があります。

本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。